

氏名：入江志乃

学部/学科：法文学部 人文社会学科 GS コース

学年：四回生

留学国名：アメリカ

留学期間 10 ヶ月

留学年月：8月10日～5月31日

[タイトル] ULM 交換留学報告書

[はじめに]

この報告書では、私がアメリカ合衆国ルイジアナ州のルイジアナ大学モンロー校 (ULM) において10ヶ月間の交換留学を行った経験について記述します。この交換留学は、私の留学目的を達成する絶好の機会であり、ULM の学術的環境や文化的な経験を通じて、多くの成長と学びを得ることができました。特に、異文化理解や行動力の点で大きく成長できたと思います。ULM には現地の学生に加え、多くのインターナショナル生がいるため、多様性という点において優れた大学だと思います。私は英語「で」学問を学び、現地の文化や生活を身近で感じたかったため、語学学校ではなく、現地の学生と一緒に授業を受けられるこの学校を選びました。もちろん英語を学ぶことは私にとって非常に重要なことなので毎日奮闘したのですが、同様に、学問、そして異文化やアメリカでの生活等、留学中にしか経験できないことからの学びも重要視していました。自分の英語力に不安を抱きながらも決断したが、留学が始まってから一度も留学をしたことを後悔することなく、とても充実した日々を過ごすことができました。

[留学目的]

私の留学の目的は、アメリカの教育システムや文化に触れることによる異文化理解の向上と、専門分野における学術的な知識とスキルの向上です。また、英語力の向上や国際的なネットワークの構築も重要な目標でした。ULM は、その優れた教育プログラムと国際的な環境によって、私の目標達成に最適な場所でした。

[留学体験]

ULM での1年間の留学は、私にとって非常に充実した経験でした。私は専攻分野の授業に加えて、幅広い科目を履修しました。ULM の教員陣は非常に熱心で経験豊かであり、授業内容やプロジェクトを通じて専門知識を深めることができました。また、図書館や研究

施設などの充実した設備も利用し、勉学に励むことができました。

さらに、ULM では学生間の交流が盛んであり、参加しきれないほどたくさんのイベントが学内で開催されていて、積極的に参加しました。これにより、留学生や地元の学生との交流が広がり、異なる文化や背景を持つ人々との対話や協力を通じて、異文化理解やコミュニケーションスキルの向上を図ることができ、友人とも楽しい時間を過ごすことができました。

留学初めの三か月間は、カルチャーショックを感じるものがあまりなく、ただ皆と一緒に過ごしたり話したりすることが楽しいという状態でした。しかし留学での生活に慣れて少し経った頃から、少しずつ自分の常識とは違った行動や考えをする友人に戸惑うことが増え、カルチャーショックを経験しているということに自覚しました。留学前はカルチャーショックやホームシック等、留学をすることで経験するマイナスな感情や影響は自分にはあまりないだろうと思っていたので、実際にそのような経験をして衝撃でした。この体験も、自分が少数派の文化だったため経験できたものです。異なるバックグラウンドや視点を持つ人々との理解を深めることができる貴重な機会でした。日本ではなかなか経験できないものだと思います。異文化環境での学びは、自己成長のための大きな要素となりました。



(ワシントン D.C. へ一人旅)

(異文化交流)

(食文化)

[留学成果]

この交換留学は、私の成長と学術的なスキルの向上に大きく貢献しました。授業を通じて、私の専攻分野における知識を深めることができました。また、英語を母国語とする学生との学術的なディスカッションやプロジェクトに参加することで、英語力を向上させること

もできました。さらに、留学先での生活や異文化体験を通じて、自己の適応能力や異文化理解を深めることができました。ULM の国際的な学生コミュニティでの交流や地元の文化に触れることにより、アメリカの文化や価値観についての理解を深めました。これらの経験は、私の将来において貴重な資産となるでしょう。

そして、私にとってこの留学でできた友人は何物にも代えがたいものです。帰国して一か月が経ちますが、今でも連絡は毎日のように取り合っています。苦楽を共にした彼らとの関係を大切にして、今後も学び合い、支え合っていきたいです。



(友人とキャンプにて)



(日本文化)

[まとめ]

人生の1年という年月をアメリカで過ごすことができたことは、非常に貴重な経験となりました。ULM の学術的な環境や豊かな文化的経験を通じて、私は成長し、異文化理解を深めることができました。ULM の教員や学生との交流を通じて、専門知識や国際的なネットワークを構築することができました。そして最後に、留学を迷っている方に伝えたいことがあります。あなたはどのように迷っているのか言語化することはできますか？留学をすることで生じるメリットとデメリットがあると思います。私は留学を通して、実際に上述したような学びや経験をすることができました。私にとっては圧倒的にメリットが大きかったです。もしメリットがデメリットより大きいのであれば、もしくは自分にとって少しでも価値のあるものだと思えるのであれば、絶対に留学をした方がいいです。海外で得られる経験は、私たちが生まれ育った日本で過ごしては得られないものです。少しでも留学が視野に入っているのであれば、留学をした方がいいと進言させていただきます。

この交換留学をサポートしてくださった ULM のスタッフ、教員、そして私を応援してく

れた家族や友人に深い感謝の意を表します。彼らのサポートがなければ、私はこのような貴重な経験を得ることはできませんでした。私はこの留学経験を生かし、将来のキャリアや社会貢献において積極的に活用していきたいと思っています。

以上が私の ULM での 1 年間の交換留学経験報告書の内容です。この留学経験によって得た貴重な経験と学びは、私の人生の中で大きな意味を持ち、将来の目標達成に向けて一歩踏み出す助けとなりました。私の人生の貴重な一年間をアメリカで過ごすことができたことは、私にとって貴重な体験となりました。